

ノリ養殖環境速報 KH-07-08 (播磨灘)

2026年1月15日 調査
2026年1月16日 発行

【概況と今後の動向見込み】

表層DIN濃度は東部海域で0.4~2.5 μmol/L、西部海域で0.2~1.6 μmol/Lで推移しています。大型珪藻のユーカンピア グディアクスは北西部沿岸域を中心に確認されました。コスキノディスクス ワイレーシーは散見される程度です。今後の海域の栄養塩濃度は現状維持か低下傾向と程度と考えられます。

- ・兵庫県の情報: <https://www.hyogo-suigi.jp/ka/>
- ・岡山県の情報: <https://www.pref.okayama.jp/page/966382.html>
- ・香川県の情報: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/joho/din/din.html>

【次回】 2026年1月27日発行予定
【参考】 栄養塩の単位
 $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at}/\text{L} = \mu\text{M}$

【表層水温(°C)】

白浜以西: 9.0 ~ 10.6, 家島諸島周辺: 10.5 ~ 11.6, 江井ヶ島・高砂周辺: 9.5 ~ 11.2,
明石海峡付近・西浦: 11.4 ~ 11.5, 鹿ノ瀬周辺: 10.3 ~ 11.4



